



## 12月議会安道よし子の一般質問

# 放射能から子どもを守るために

福島原発事故で放出された放射性物質の被害は、人間にも及んでいます。

私は、放射能の影響を受けやすい子どもや妊婦さんのいのちと健康を守る対策を求めました。

放射線量測定の実況について質すと、市長は「238施設の532箇所を月1度、定点測定し、最低値は0.033μシーベルト、最高値は0.131μシーベルトの値で、安心できる」と答弁。

### ミニスポットの測定と貸し出しを

私たち市議団の測定では、高い数値も出ているため、丁寧な測定の必要性を強調。川越市や朝霞市の除線の例を示し、側溝や雨樋下などミニスポットの測定と、測定器の市民貸し出しを求めました。

市長は丁寧な測定は実施すると答えたものの、「測定器の貸し出



放射線量の測定中

しは、3台フル稼働しているのが困難」と市民の声に応える姿勢がありません。

### 学校給食の食材検査で健康を守れ

未来を担う子どもたちのために学校給食の食材検査と、食材検査機器の確保を蕨市の例を示して求めました。

教育長は「川越、所沢、飯能は検査を実施した。動向をみて判断する」と答弁。市長は「検査機器の確保は今のところ考えていない」と、消極的です。

文科省は、東日本17都県自治体に学校給食の放射線検査機器整備の経費補助の実施を通知。各自治体では対策に乗り出しています。入間市も検査を実施し子どもたちの健康を守るべきです。

### 学校給食の検査実施の自治体

食品検査機器整備・・・蕨市・越谷市など計  
計画中も含め8自治体  
民間に検査を委託・・・川越・所沢・飯能など29自治体

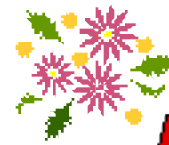
## 東町・基地脇の踏み切りに歩道を

東町の第一病院そばの踏み切り改修と歩道の確保について、以前にも一般質問で取りあげました。

今回は、改めて、歩行者を守る対策として、当面、踏切内に木製の歩道整備を提案しました。鉄道事業者と協議して方法を検討するとの市長答弁でした。



交通量が多く大変危険



いつもはつらつ

# 安道よし子の 市議会通信

No. 26

2012年1月号



日本共産党市議会議員

新しい年を迎えいかがお過ごしでしょうか。旧年中は、大変お世話になりました。今年もよろしくお願いいたします。

去年は、今まで経験したことのない大変な年でした。今年は、辰年、何事も良い方向に勢いづく年にしたいですね。

12月議会では「放射能から子どもを守る対策」を求め、一般質問しました。ご意見など是非、お聞かせくださいますように。



## 安全な狭山茶の対策を万全に

福島原発事故の影響で地元お茶農家や茶業者は大打撃を受けました。新茶に向け、安全な食品としての狭山茶を守る対策と賠償問題について、市長に質しました。

### 新茶に向け110カ所で検査

市長は、「東電と協議会で賠償問題は協議する。補償の事務手続きの支援や融資など、市で対応出来ることは最

大限取り組む」と答えました。

新茶製造に向け秋葉の検査を110カ所で行い、検査費用は市の補助で実施したと答えました。

「飲用茶の基準値見直し」については、所沢・狭山・日高・飯能・鶴ヶ島市など近隣自治体と合同で国に要望書を提出し、改善を求めた事を明らかにしました。



## みなさんの声を届けて働きます

安道よし子の連絡先      どんなことでもお気軽にどうぞ  
電話・Fax 04(2962)8082      携帯 090(4811)0553

# H25年度より埼玉西部消防組合発足へ 12月定例市議会

## 広域化で市民の安全守れるか

今議会に提出された20議案は全て可決・成立しました。共産党は「埼玉西部消防組合の設立」と「国民健康保険条例の改正」の2議案に反対し、他の議案には賛成しました。

議会開会日には9月議会に提出されていたH22年度決算の採決が行われました。共産党は一般会計と国保・後期高齢者医療・狭山台区画整理の各特別会計に反対しました。

5市(入間市、所沢市、狭山市、飯能市、日高市)の消防組織をひとつにする「埼玉西部消防組合の設立」の議案は、入間市議会では共産党以外の全ての会派が賛成し、

### 公明党金澤議員の役職等辞任で市議会常任委員長などを再選出

12月議会中に、金澤議員より「委員長などの役職と議会改革特別委員」を辞任する申し出がありました。都市経済常任委員長に友山議員、交通対策特別委員会委員長に宮岡治郎議員、議会改革特別委員会副委員長に宮岡幸江議員が就任し、議会改革特別委員会委員に永澤議員を指名したという議長報告がありました。

可決されました。他4市の議会でも賛成多数で可決され、これでH25年4月から5市の消防広域化が実施されることになりました。

### 市民不在で消防力低下と負担増

5市の消防がひとつにされると管轄面積は現在の45km<sup>2</sup>から406km<sup>2</sup>となり、そのうち44%が山間地域で、職員の負担が増え地理不案内がでる恐れがあります。さらに入間市では、現在2台あるはしご車のうち藤沢分署のはしご車が削減され、「消防力の強化」どころか低下を招きます。

広域化のための協議会は非公開で行われ、市民説明会も周知が不十分で少ない

参加者のなかで行われました。これでは市民の合意を得られたとは言えません。

広域化すると入間市の負担は、5年間で9200万円も増加。県内の自治体で広域化が進んでいないのは、こうした矛盾があるからです。いま求められているのは大災害に備えた消防力であり、地域に密着した自治体消防の強化こそ必要です。



### 国保の限度額が59万円から77万円の大負担増に

国民健康保険税の限度額を大幅に引き上げる議案は、日本共産党以外の全会派の賛成で可決されました。

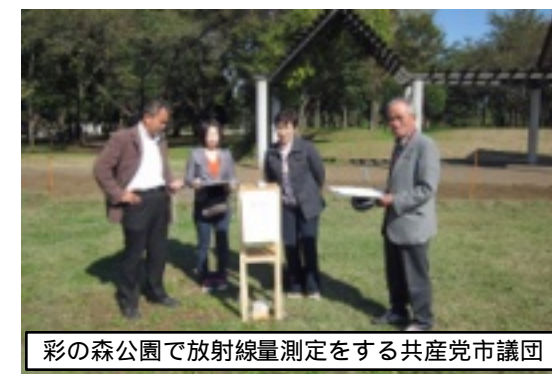
国保税の限度額が医療給付分、後期高齢者支援金等分、介護納付金分の合計59万円から77万円に、一気に18万円も引き上げられ831世帯に影響がでます。

今回の条例改定は国保の広域化を見ずえたもので、広域化されると更なる保険税の引き上げ、負担増につながります。

この間、国保の収納率は90%以下に落ち込んでいます。国保税が高すぎて払えない世帯が増えるなか、広域化につながる限度額の引き上げは認めることができません。

日本共産党は「長期滞納者をださないよう申請減免制度の改善と、法定減免を現行の6割・4割減免から7割・5割・2割減免に改定して、低所得層を救済する対策こそ急ぐべき」と主張しました。

## 放射線測定を行います



彩の森公園で放射線量測定をする共産党市議団

日本共産党入間市議団は、市役所と同機種の放射線量測定器(HORIBA APA-1000)を購入しました。

みなさんの要望に応じて測定に出向きます。連絡は下記の共産党議員まで遠慮なくお寄せ下さい。

## 共産党議員の一般質問

石田よしお議員

基地跡地の留保地問題、スポーツ振興

小出わたる議員

T P P、中橋、仏子交差点、30人学級

安道よし子議員

放射能から子どもを守れ、踏切改修を

## 日本共産党市議会報告

2012年1月 発行/日本共産党入間市議会議員団  
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883